

<第三種郵便物認可>

産 経 新 聞

絵日記でコミュニケーションを行う なかぞのしん 中園晋さん(46) =高槻市

自閉症で言葉が話せないため、母の功子さん(81)と長年にわたって絵日記でコミュニケーションをとってきた。絵日記の絵をもとに、絵画作品として新たに描いたものが評判を呼んでいる。

母子の絵日記のやりとりが始まったのは小学生のころ。学校の授業や遠足など日常の情景を描き続けてきた。そのノートは数十冊にも及ぶ。

2年前からは高槻市にある障害者も参加するアート教室「わんだーぼくす」に月2回通い、本格的に絵画の制作に取り組んでいる。また、障害者が主役のアート展「ビッグ

・アイ アートプロジェクト」にも出品。一昨年は審査員賞に輝き、昨年も入選した。

一昨年の出品作品は「ライオンとふしぎななかまたち」。中学生のころ、京都市動物園でライオンにほえられた体験がモチーフで、アクリル絵の具などを使って約1カ月かけて仕上げた力作だった。

先月、高槻市富田町の市立富田ふれあい文化センターで開かれた知的障害者らの展覧会「ボーダレスアート展」にも出品。独特の構図と美しい色使いで日常を描いた作品が見る人を感動させた。今後も精力的に公募展に出品していくという。



ひと@OSAKA

北撰